

令和3年度入学生用カリキュラムマップ

【心理・社会福祉学科】

【共通】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号													
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目													
					1. 知識・理解	2. 技能・表現	3. 思考・判断	4. 態度・志向性	1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3
21UPWC1011	初期演習 I	1	本学で修得すべきことは何かを理解し、自主的に学び新たな発見を導きだせる力を身につけることを目的とする。このため、本学の「立学の精神」「教育目標」を知り、本学学生としての誇りと自覚を持つ。さらに、主体性・論理性・実行力を培い、女性として有為な社会人となるために、それぞれの学部学科の専門性に基づく知識と社会人基礎力の修得の必要性を理解し、各自のキャリアパスを自ら構築する。	本学で修得すべきことは何かを理解し、自主的に学び新たな発見を導きだせる力を身につけることを目的とする。このため、本学の「立学の精神」「教育目標」を知り、本学学生としての誇りと自覚を持つ。さらに、主体性・論理性・実行力を培い、女性として有為な社会人となるために、それぞれの学部学科の専門性に基づく知識と社会人基礎力の修得の必要性を理解し、各自のキャリアパスを自ら構築する。							○	○	◎	◎	○	○	○	○
21UPWC1021	初期演習 II（心理・社会福祉）	1	「初期演習 II（心理・社会福祉）」の目的は、「初期演習 I」で培った力をさらに発展させ、学院の教育理念、立学の精神に基づいた、本学学生としての誇りと自覚を持ち、大学生にふさわしい主体性・論理性・実行力を培う。講義の中で、本を読む、文章を書くなど、大学生の基礎的な能力を養うとともに、学生および教員との人間関係の基礎を身につける。このような講義を実施し、文学部心理・社会福祉学科の教育目標を達成するように導く。	1. 「立学の精神」、それに基づく「教育目標」、「教育推進宣言」、学院の歴史について理解する。 2. 主体的に学び、実践する姿勢を身につけ、積極的に意見を発表・伝達するために、本を読み、自ら考え、文章に表現するなどの基礎的な能力を養う。 3. 学生相互や担任教員との豊かで円滑な人間関係の基礎を築く。 4. 女性として社会で活躍するための、キャリア形成の基礎を身につける。							○	○	◎	◎	○	○	○	
21UPWC1031	心理学概論 A	1	対人援助を支える科学としての心理学について、基本的な考え方と方法論を理解することを目的とする。特に、心理学における人の理解とそのための技法の基礎、人の成長・発達と心理との関係、日常生活と心の健康について、理解を深化させる。	1. 心理学の成り立ちについて概説できる。 2. 人の心の基本的な仕組みおよび働きについて概説できる。 3. 心理学の基礎的な概念・用語・研究結果を理解し、日常生活の身近な出来事と関連づけることができる。	◎									○				
21UPWC1041	心理学概論 B	1	対人援助を支える科学としての心理学について、基本的な考え方と方法論を理解することを目的とする。特に、心理学における人の理解とそのための技法の基礎、人の成長・発達と心理との関係、日常生活と心の健康について、理解を深化させる。	1. 心理学の成り立ちについて概説できる。 2. 人の心の基本的な仕組みおよび働きについて概説できる。 3. 心理学の基礎的な概念・用語・研究結果を理解し、日常生活の身近な出来事と関連づけることができる。	◎									○		○		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号															
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目															
					1. 知識・理解	2. 技能・表現	3. 思考・判断	4. 態度・志向性	1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2
21UPWC1051	ソーシャルワーク概論A	1	1. 社会福祉士の役割（総合的かつ包括的な援助および地域福祉の基盤整備と開発を含む）と意義について理解する。 2. 精神保健福祉士の役割と意義について理解する。 3. 相談援助の概念と範囲について理解する。 4. 相談援助の理念について理解する。 5. 相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解する。 6. 相談援助に係る専門職の概念と範囲および専門職倫理について理解する。 7. 総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解する。	1. 社会福祉士と精神保健福祉士の役割と意義および専門性について説明できる。 2. ソーシャルワークに係る各種の国際定義を説明できる。 3. ソーシャルワークの形成過程を説明できる。 4. 相談援助に係る専門職の概念と範囲について説明できる。 5. 相談援助の理念である人権尊重および社会正義について説明できる。 6. ジェネラリストの視点に基く総合的かつ包括的な援助の意義と内容について説明できる。 7. ジェネラリストの視点に基く多職種連携（チームアプローチ）の意義と内容について説明できる。	◎											○				
21UPWC1061	ソーシャルワーク概論B	1	1. 社会福祉士の役割（総合的かつ包括的な援助および地域福祉の基盤整備と開発を含む）と意義について理解する。 2. 精神保健福祉士の役割と意義について理解する。 3. 相談援助の概念と範囲について理解する。 4. 相談援助の理念について理解する。 5. 相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解する。 6. 相談援助に係る専門職の概念と範囲および専門職倫理について理解する。 7. 総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解する。	1. 社会福祉士と精神保健福祉士の役割と意義および専門性について説明できる。 2. 相談援助の理念である利用者本位、尊厳の保持、権利擁護、自立支援、社会的包摶、ノーマライゼーションについて説明できる。 3. 相談援助に係る専門職の概念と範囲について説明できる。 4. 専門職倫理の概念と倫理的ジレンマについて説明できる。 5. ジェネラリストの視点に基く総合的かつ包括的な援助の意義と内容について説明できる。 6. ジェネラリストの視点に基く多職種連携（チームアプローチ）の意義と内容について説明できる。	◎											○				
21UPWC1073	人体の構造と機能及び疾病	1	1. 心身機能と身体構造およびさまざまな疾患や障害の概要について、人の成長・発達、日常生活との関連を踏まえて理解する。 2. がん、難病等の心理に関する支援が必要な主な疾病について理解する。 3. 國際生活機能分類（ICF）の基本的な考え方と概要について理解する。 4. リハビリテーションの概要について理解する。 5. 身体疾患が疑われる場合に、医師への紹介等の対応が必要かどうか判断できる。	1. 人の成長・発達・老化、心身機能と身体構造、およびさまざまな疾患（悪性腫瘍、生活習慣病、感染症その他）や身体障害・精神障害などの障害について概説できる。 2. 心理に関する支援が必要な主な疾病について概説できる。 3. 健康の概念と國際生活機能分類（ICF）の基本的な考え方について概説できる。 4. リハビリテーションについて概説できる。 5. 身体疾患が疑われる場合に、必要に応じて医師への紹介等の対応ができる。	◎	◎											○			
21UPWC3013	社会学	3	社会福祉士・精神保健福祉士に必要な以下の内容について学ぶことにより、社会学の基本的なものの見方や考え方を理解する。 (1) 現代社会の特質 (2) 現代社会における家族や地域社会 (3) 現代の社会問題	1. 他者に共感する力および自己の在り方を批判的に省察する力を涵養することができる。 2. 社会を多角的にみるための社会学的センスを磨くことができる。	◎											○		○		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号														
					凡例： ◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1. 知識・理解	2. 技能・表現	3. 思考・判断	4. 態度・志向性	1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1
21UPWC3023	関係行政論	3	心理・社会福祉に関する支援を求める分野における法律、制度を理解する。	1. 保健医療分野に關係のある法律、制度について概説できる。 2. 福祉分野に關係のある法律、制度について概説できる。 3. 教育分野に關係のある法律、制度について概説できる。 4. 司法・犯罪分野に關係のある法律、制度について概説できる。 5. 産業・労働分野に關係のある法律、制度について概説できる。	◎	◎	○	○					○	○	○				
21UPWC1081	情報リテラシー	1	大学教育に適応し、安全で適切な情報活用ができるための基礎的な情報リテラシーを身につける。コンピュータやネットワークの知識、情報モラルの知識と実践力を育成するとともにオフィスソフトの活用をもとにしたレポート作成の基礎的な技能を確実に習得する。	1. 本学のシステムやオンラインサービスを知り、使いこなすことができる。 2. 基礎的なコンピュータやネットワークに関する知識、情報モラルに関する知識をもち、場面に応じて安全にコンピュータやネットワークを活用することができます。 3. レポートを作成するために必要なソフトの活用技能を習得し、課題に応じた簡単なレポート作成ができる。									◎						
21UPWC1091	英語 I	1	基本的な文法事項を確認し、「読む」スキルおよび「書く」スキルを中心に身につける。	1. 基礎的な文法事項を理解できる。 2. 英文の内容を正しく読み取ることができ、日本語に訳すことができる。			○												
21UPWC1101	英語 II	1	基本的な文法事項を確認し、「読む」スキルおよび「書く」スキルを中心に身につける。	1. 基礎的な文法事項を理解できる。 2. 英文の内容を正しく読み取ことができ、日本語に訳すことができる。			○												
21UPWC1113	Oral Communication I	1	「英文法はある程度わかっていても、いざとなると英語が話せない」という人は多い。本授業では、英語でコミュニケーションを図る際のフォーマットを確認し、実際に「使う」ことを経験しながら、コミュニケーション能力を養う。	1. 英語の基礎文法や語彙を理解する。 2. 基礎的な英語会話ができる。				○											
21UPWC1123	Oral Communication II	1	「英文法はある程度わかっていても、いざとなると英語が話せない」という人は多い。本授業では、英語でコミュニケーションを図る際のフォーマットを確認し、実際に「使う」ことを経験しながら、コミュニケーション能力を養う。	1. 英語の基礎文法や語彙を理解する。 2. さまざまな場面での基本的な会話ができる。				○											
21UPWC1133	心理学研究法	1	心理学研究の基本的な論理、プロセス、および研究アプローチについて理解する。	1. 心理学を研究する上での心構えを身につける。 2. 心理学の研究を実施する際に、最低限知っておく必要のある知識やテクニックを身につける。 3. 心理学における質的研究および量的研究を含む実証的研究法について概説できる。 4. データを用いた実証的な思考方法を修得している。 5. 心理学研究における研究倫理について理解している。	◎	○													
21UPWC1143	臨床心理学概論	1	臨床心理学とは何かについて、基本的なものの見方、考え方を理解することを目的とする。臨床心理学の代表的な理論を学ぶとともに、さまざまな臨床領域で実践されている心理的援助についても学ぶ。	1. 臨床心理学の基礎的な知識を身につけることを目的とする。 2. 臨床心理学の代表的な理論と具体的な援助方法を学ぶ。 3. 臨床心理学の成り立ちについて概説できる。	◎	○	○						○	○					

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号														
					凡例： ◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1. 知識・理解	2. 技能・表現	3. 思考・判断	4. 態度・志向性	1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1
21UPWC1153	発達心理学	1	発達心理学の基礎的な概念・用語と、胎児期から高齢期までの発達の概要について理解し、生涯にわたる連続した発達について、心理学における基本的な理論を理解する。	1. 発達心理学の基礎的な概念・用語を理解し、胎児期から高齢期までの発達の概要をイメージできる。 2. 認知機能の発達および感情・社会性の発達について概説できる。 3. 自己と他者の関係の在り方と心理的発達について説明できる。 4. 誕生から死に至るまでの生涯における発達および各発達段階での特長について説明できる。 5. 発達障害等非定型発達について基本的な事項や考え方を概説できる。 6. 高齢者の心理社会的課題および必要な支援について説明できる。 7. 多様な概念を整理し、互いを関連づけながら、日常の身近な現象と結びつけることができる。	◎									○	○	○			
21UPWC1163	知覚・認知心理学(知覚)	1	実証事例を通じて、感覚・知覚のしくみ、およびその障害に関する基礎的な知識を理解する。	1. 人の感覚・知覚等の機序(メカニズム)およびその障害について概説できる。 2. 知覚心理学について基礎的知識を得る。	◎	○								○					
21UPWC1173	権利擁護と成年後見制度	1	社会福祉学の価値の一つである人権の尊重を中心に、法の基本原理(成年後見制度含む)を理解する。	相談援助職として法(日本国憲法の基本原理、民法(成年後見制度含む)・行政法)を活用する知識を得るとともに、専門職としての素養を身につける。	◎	○			○										
21UPWC1183	精神保健A	1	1. 精神の健康についての基本的な考え方と、精神保健学の役割について理解する。 2. 現代社会における精神保健の諸課題について理解する。	1. 精神の健康と、それに関する要因(ストレス、ライフサイクル、生活習慣など)、および精神保健の概要について説明できる。 2. 精神保健から見た、家族、学校教育などの課題と、それへのアプローチについて説明できる。	◎	◎	○												
21UPWC1193	精神保健B	1	1. 精神保健学Aに引き続き、現代社会における精神保健の諸課題について理解する。 2. 精神保健の実際、および精神保健福祉士の役割について理解する。 3. 精神保健を維持・増進するために機能している、専門機関や関係職種の役割と連携について理解する。 4. 國際連合の精神保健活動や、他の国々における精神保健の現状と対策について理解する。	1. 精神保健から見た、勤労者、その他の現代社会の課題と、それへのアプローチについて説明できる。 2. 精神保健に関する対策と精神保健福祉士の役割について概説できる。 3. 地域精神保健に関する諸活動について説明できる。精神保健に関する今なお残る偏見・差別等の課題を指摘できる。 4. 精神保健に関する専門職種(保健師等)と国、都道府県、市町村、諸団体等の役割、およびそれらの間の連携について説明できる。 5. 諸外国の精神保健活動の現状と対策について概説できる。	◎	◎	○												
21UPWC1203	精神保健福祉の原理A	1	対人援助職が行う相談援助の対象と、相談援助の概要について理解し、精神保健福祉活動における総合的かつ包括的な援助の考え方について理解することを目的とする。	1. 「障害者」に対する思想や障害者の社会的立場の変遷から、障害者福祉の基本的枠組み(理念・視点・関係性)について理解する。 2. メンタルヘルスの課題をもつ当事者の社会的立場や処遇内容の変遷をふまえ、それに対する問題意識をもつ価値観を体得する。 3. 近年の精神保健福祉の動向を踏まえ、精神保健福祉士の職域と業務特性を理解する。	◎									○					
21UPWC1213	精神保健福祉の原理B	1	対人援助職が行う相談援助の対象と、相談援助の概要について理解し、精神保健福祉活動における総合的かつ包括的な援助の考え方について理解することを目的とする。	1. 「精神障害者」の定義とその障害特性を構造的に理解するとともに、精神障害者の生活実態について学ぶ。 2. 精神障害者へのかかわりについて、精神保健福祉士の存在意義を理解して職業的アイデンティティの基礎を築く。 3. 現在の精神保健福祉士の基本的枠組み(理念・視点・関係性)と倫理綱領に基づく職責について理解する。 4. 精神保健福祉士を規定する法律と倫理綱領を把握し、求められる機能や役割を理解する。	◎									○					

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号											
					凡例： ◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目											
					1. 知識・理解	2. 技能・表現	3. 思考・判断	4. 態度・志向性	1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1
21UPWC1223	キャリアデザイン論	1	本講義では、臨床医工学・情報学の融合分野において、受講者が目指すキャリアを明確化してキャリアパスを設計し、実践的なスキルを獲得することで、社会で主体的に活躍できるようになることを目的とする。	①臨床医工学・情報学の融合分野において、社会で活躍する外部講師の講演から、将来のキャリアパスをイメージし、具体的に組み立てることができる。 ②外部講師の講演から多様な働き方があることを認識し、ライフィベント（出産、育児、介護）と仕事の両立やキャリアを継続するために利用可能な制度等に関する知識を持つ。 ③受講生同士のディスカッションを通して、コミュニケーション能力や発信力・傾聴力などに代表される「社会人基礎力」を身につける。			◎				○		○			
21UPWC1233	地域活性化実践論	1	地域の活性化に必要な知識、構造、問題点等を明らかにし、系統的に理解することにより、地域再生に必要な方策を考える能力を身につけることを目的とする。特に、関西地域の活性化に向けて、医療・医学・福祉・医工学・情報学分野でどのような取り組みが必要であるか、またどのような連携システムの構築が必要であるかを学習する。	①課題テーマに対して、医療、福祉、ICT（情報通信技術）など多分野から考察することができる。 ②グループが1つのチームとして有機的に活動し、協調的な学習から「地域活性化」に向けた取り組みを提案することができる。 ③異分野の学生とのグループディスカッションおよびグループ発表会を通して、コミュニケーション能力や発信力・傾聴力などに代表される「社会人基礎力」を身につける。	○		○		○		○		○			
21UPWC3033	プレプロフェッショナル教育	3	近年の医・歯・薬学、工学・情報学の目覚しい発展により、各分野を融合した医工学研究領域が新たな学問として脚光を浴びている。しかし、医学を理解した工学・情報学系の人材、工学・情報学系を理解した医療従事者は乏しいのが現状である。本科目では専門色が強く、かつ実習を取り入れた講義を行い、医工学領域の即戦力として活躍するために必要な知識を得ることを目的とする。	1. 専門科目では、臨床医工学・情報学の融合分野における最新の知見を学習し、各講義テーマと自らの専門分野・関心領域の知識とを結びつけて考えることができる。 2. 共通科目においては理系（科学）英語の読み方・書き方および統計解析の考え方を学び、演習を通して研究をする上で必要となる基礎的なスキルを身につける。 3. 実習では医療や福祉の現場を体感し、最新の機器等について理解を深めるとともに、講師とのディスカッションから研究倫理・職業観を養う。 4. 本科目全体を通して、臨床医工学・情報学の融合分野への興味関心を喚起しながら自らが進む方向（分野）を考え、将来のキャリア形成の一助とすることができる。	○		○		○		○		○			

令和3年度入学生用カリキュラムマップ

【心理・社会福祉学科】

【心理コース】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号														
					凡例：○ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1. 知識・理解	2. 技能・表現	3. 思考・判断	4. 慊度・志向性	1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1
21UPWP2013	心理学統計法（基礎）	2	心理学で用いられる統計手法について理解するとともに、統計学的基础概念・実験や調査の方法論的概念等を理解する。	1. 統計に関する基礎的な知識を習得している。 2. 分散分析・t検定・ノンパラメトリック検定に関する知識を習得している。 3. 実験計画に基づき、適切な分析方法を選択することができる。 4. 心理学で用いられる統計手法について概説できる。	○	○										○			
21UPWP2023	心理学統計法（応用）	2	心理学で用いられる統計手法について理解するとともに、統計学の基礎概念・実験や調査の方法論的概念等を理解する。	1. 統計に関する基礎的な知識を習得している。 2. 多変量解析に関する基本的な知識を習得している。 3. 実験計画に基づき、適切な分析方法を選択することができる。 4. 相関分析・回帰分析・主成分分析・因子分析の分析結果を解釈することができる。 5. 心理学で用いられる統計手法について概説できる。	○	○										○			
21UPWP2033	心理学実験Ⅰ	2	心理学の基礎的な実験・測定方法に習熟し、3年次以降の卒論研究に資する方法論的基礎（実験の計画・実験方法・統計分析とその解釈など）を形成する。	1. 実証的研究の実践に関する基礎的スキルを習得している。 2. 実験データの収集および処理を適切に行う基礎的スキルを習得している。 3. 実験の計画を立てる基礎的スキルを習得している。 4. 実験の結果について適切な解釈ができ、報告書を作成する基礎的スキルを習得している。 5. 統計に関する基礎的な知識を有し、研究に必要な情報収集スキルの基礎を習得している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21UPWP2043	心理学実験Ⅱ	2	心理学の応用的な実験・測定方法を経験し、3年次以降の卒論研究に資する方法論的基礎を形成する。	1. 実証的研究の実践に関する応用的スキルを習得している。 2. 実験データの収集および処理を適切に行う応用的スキルを習得している。 3. 実験の計画を立てる応用的スキルを習得している。 4. 実験の結果について適切な解釈ができ、卒業論文レベルの報告書を作成する応用的スキルを習得している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21UPWP2053	心理的アセスメント（概論）	2	心理的アセスメント（心理査定）についての基本的な知識を身につけることを目的とする。心理査定、観察および面接の目的や倫理、方法や関わりなどを身につけ、心理的支援に必要なクライエントを理解する際の観点を学ぶ。また、心理検査の基本的な性質も講義形式で学ぶ。	1. 生育歴や家族の状況等の心理的アセスメントに有効な情報およびその把握の手法等について概説できる。 2. 心理に関する支援を要する者等に対する関与しながらの観察について、その内容を概説することができ、行うことができる。 3. 心理検査の種類、成り立ち、特徴、意義および限界について概説できる。 4. 心理検査の実施、採点および解釈方法をおおよそ理解できる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21UPWP3013	心理的アセスメント（実習）	3	心理的アセスメントを実際に実施し、アセスメントの実施方法、目的、結果の解釈方法を理解する。さらに心理的アセスメントの有効性と限界について学ぶことにより、心理的アセスメントについての理解を深める。	1. 心理検査の適用および実施方法について説明でき、正しく実施し、検査結果を解釈することができる。 2. 適切に記録、報告、振り返り等を行うことができる。 3. アセスメント結果を理解し、適切な報告書を作成できる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21UPWP2063	知覚・認知心理学（認知）	2	主に社会的認知研究と日常認知研究について講義する。人間の認知（感情、記憶、思考など）のプロセスおよびその障害について、実証研究を通じ、総合的に理解する。	1. 人の認知・思考等の機序（メカニズム）およびその障害について概説できる。 2. 認知心理学について基礎的知識を得る。 3. 日常生活に認知心理学の知識が役立つことを理解することができる。	○	○										○			

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号																
					凡例： ◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目																
					1. 知識・理解	2. 技能・表現	3. 思考・判断	4. 態度・志向性	1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3
21UPWP2073	学習・言語心理学（学習）	2	学習心理学における主要なテーマである条件づけと記憶の理論について理解することを目的とする。	1. 経験を通して人の行動が変化する過程を説明できる。 2. 学習や記憶に関する様々な理論や仕組みを知り、それらを日常場面と結びつけて理解できる。	○											◎	○				
21UPWP4013	学習・言語心理学（言語）	4	ことばに関する様々な心理学的・言語学的研究事例の紹介と検討を通して、人間が言語を扱う能力や運用のしくみ、言語を習得していく過程などを学ぶ。	1. 人が言語を扱う能力に関する学問的知識を習得している。 2. 言語運用やコミュニケーションに関する学問的知識を有している。 3. 論理的・客観的思考力を身につける。 4. 言語の習得における機序について解説できる。	○	○	○		○	○	○	○	○								
21UPWP4023	感情・人格心理学（感情）	4	人間の感情に関する理論やメカニズムを学ぶことを通して、感情と行動の関係を理解し、感情心理学の基礎知識を持つことを目標とする。	1. 感情に関する理論および感情喚起の機序（メカニズム）について概説できる。 2. 感情が行動に及ぼす影響について概説できる。 3. 感情心理学について幅広く基礎的知識を得る。	○												○				
21UPWP3023	感情・人格心理学（人格）	3	人格（パーソナリティ）の諸理論を概観し、人格とは何かを理解し、人格がどのように形成され、表出されるのかについて学び、人格心理学の基礎知識を持つことを目標とする。	1. 人格（パーソナリティ）の概念および形成過程について概説できる。 2. パーソナリティについて行われてきた基礎的研究について理解し、パーソナリティの類型、特性等について概説できる。 3. 様々な日常場面において、パーソナリティが実際にはどのように影響するかについて学ぶ。	○											○	○				
21UPWP3033	神経・生理心理学（生理）	3	人間行動の基本的メカニズムに関する生理学的側面からの理解を目的とし、生理心理学の基礎となる神経系の構造と働きおよび、脳・身体と行動との関係を理解する。	1. 脳神経系の構造および機能について概説できる。 2. 記憶、感情、ストレス等の生理学的反応の機序（メカニズム）について概説できる。	○											○					
21UPWP3043	神経・生理心理学（神経）	3	脳の構造と正常なはたらきを理解した上で、失語症、失認症、失行症などの高次脳機能障害および発達障害にみられる神経心理症状について学ぶ。これらの理解を通して高次脳機能障害者や発達障害児（者）の内的世界への洞察を深め、適切な臨床的態度を身につけることを目指す。	1. 脳神経系の構造および機能について概説できる。 2. 高次脳機能の障害および必要な支援について説明できる。 3. 脳障害者や発達障害児（者）の行動や内的世界への洞察を深め、脳障害や発達障害に関する基礎知識を習得する。 4. 脳障害者や発達障害児（者）の行動や心理を、その表面的な特性に振り回されるのではなく、本質的課題を見極め、共感的に理解できる能力を養う。	○	○										○	○	○	○	○	○
21UPWP2083	社会・集団・家族心理学（社会・集団）	2	社会心理学ならびに集団心理学の目的である、社会的場面・集団的場面における社会的行動のメカニズムを理解し、予測し、これを制御するために、社会的行動の規則性ないし法則性を理解する。	1. 社会・集団心理学に関する基本的な考え方を理解する。 2. 対人関係ならびに集団における人の意識および行動についての心の過程を説明できる。 3. 人の態度および行動について様々な理論を用いて説明できる。 4. 科学的な視点から人間行動を理解する方法を獲得する。 5. 日常的な行動のメカニズムについて、科学的・論理的に分析することができる。 6. 社会・集団心理学の知識を対人場面の問題解決に適用することができる。	○	○										○	○	○	○	○	
21UPWP4033	社会・集団・家族心理学（家族）	4	本講義は、社会、集団、家族に関連した心理学について講義を実施する。講義では、家族、集団、文化が人に及ぼす影響について学ぶ。そして、家族や家族の心理について自分の考えを持つことができ、さらに、他の学生とも意見交換を行い、社会、集団、家族心理学について理解する。	1. 家族、集団および文化が個人に及ぼす影響について概説できる。 2. 自分の考えと他者の意見を双方向に交流させることができる。 3. その上で家族と家族心理についての、自分の考えをしっかりと持つことができる。	○											○	○	○	○	○	○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号																
					凡例： ◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目																
					1. 知識・理解	2. 技能・表現	3. 思考・判断	4. 慊度・志向性	1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3
21UPWP3053	障害者・障害児心理学	3	各障害について定義（概念）を明確にし、それぞれの障害に特有の発達上の課題、社会生活上で生じてくる様々な問題を理解すること、そして問題解決のための心理学的援助のあり方を理解することを目標とする。	1. 身体障害、知的障害および精神障害について概説できる。 2. 障害者、障害児の心理社会的課題および必要な支援について説明できる。	◎	◎									○	○	○				
21UPWP2093	心理学的支援法	2	心理カウンセリングや心理療法といった心理学的支援の理論と技法について体系的に学ぶ。また、実際の臨床現場で心理カウンセリングや心理療法といった心理学的支援がどのように行われているのかも知る。	1. 心理的支援を要するクライエントの心理学的問題を適切に理解する。 2. 代表的な心理療法ならびにカウンセリングの歴史、概念、意義および適応について概説できる。 3. 訪問による支援や地域支援の意義について概説できる。 4. 心理に関する支援を要する者およびその関係者の特性や状況に応じて適切な支援方法を選択・調整することができる。 5. 良好的な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を身につける。 6. 心理療法やカウンセリングの適用には限界があることを説明できる。 7. 心理に関する支援を要する者等のプライバシーに配慮できる。 8. 心の健康教育について理解できる。	◎		○	○								○	○	○			
21UPWP4043	健康・医療心理学	4	1. ストレスと心身の疾病の関係について理解する。 2. 医療現場における心理社会的課題および必要な支援方法について理解する。 3. 様々な保健活動における心理社会的課題および必要な心理に関する支援について理解する。 4. 災害時などに必要な心理に関する支援について理解する。	1. ストレスと心身の疾病の関係について概説できる。 2. 医療現場における心理社会的課題および必要な支援方法について説明できる。 3. 様々な保健活動における心理社会的課題および必要な心理に関する支援について説明できる。 4. 災害時などに必要な心理に関する支援について説明できる。	○	◎	○								○	○					
21UPWP3063	福祉心理学	3	福祉現場において生じる諸問題について、その背景を心理的・社会的観点から理解する。さらに、社会福祉の対象となる人びとに対する支援を心理学的観点から考えることを目的とする。	1. 福祉現場において生じる問題およびその背景について説明できる。 2. 福祉現場における心理社会的課題および必要な支援方法について説明できる。 3. 虐待についての基本的知識と必要な支援について説明できる。 4. 高齢者の心理社会的課題および必要な支援について説明できる。	◎	◎	○								○	○	○	○			
21UPWP4053	教育・学校心理学	4	教育現場では日々様々な問題が発生しているため、このような問題の背景を理解し、改善するための援助方法を検討するための心理的アセスメントについて理解することが必要になる。 本講義では、教育現場でできる援助方法を検討し、他機関との連携ならびに学校内でのケース検討会議の方法を理解する。さらに、保護者との関わり方や介入方法を学び、必要な援助方法を考えるとともに、心理社会的課題も考えられる能力を身につける。	1. 教育現場において生じる問題およびその背景について説明することができる。 2. 教育現場で必要な児童・生徒理解に対する心理学的見方や心理的アセスメントについて理解する。 3. 児童・生徒への心理教育的援助方法について理解する。 4. 教育現場においてチームアプローチ、機関連携、ケース会議などをコーディネートする援助サービスの技能について理解する。 5. 保護者に対する関わり方や介入方法について理解する。 6. 教育現場における心理社会的課題および必要な援助方法について説明できる。	○	◎		○							○	○	○	○	○	○	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号																
					凡例： <input checked="" type="checkbox"/> ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 <input type="checkbox"/> ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目																
					1. 知識・理解	2. 技能・表現	3. 思考・判断	4. 態度・志向性	1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3
21UPWP2103	司法・犯罪心理学	2	本講義は、犯罪、非行、犯罪被害および家事事件について理解するため、以下のような講義を実施する。 1. 犯罪、非行、犯罪被害および家事事件についての基本的知識を身につける。 2. 犯罪学の諸理論を理解するとともに、理論を批判的に吟味することで合理的・論理的な思考力を身につける。 3. 犯罪・非行とよばれる反社会的逸脱行動は心理的な要因のみで生じるものではなく、環境的・状況的・社会的な要因や生物学的な負因などが複合して生じることを概説する。 4. 心理学が犯罪・非行領域でどのように応用・援用されているかを概説する。 5. 警察、司法、矯正保護などの刑事政策に関わる諸機関の役割やそこで働く心理系専門職の実務を知る。 6. 精神障害者の犯罪、精神鑑定、裁判員制度、少年司法制度など、関連する諸問題についても概説する。	1. 犯罪、非行、犯罪被害および家事事件についての基本的知識を概説できる。 2. 犯罪学の諸理論を理解するとともに、理論を批判的に吟味することで合理的・論理的な思考力を身につける。 3. 司法・犯罪分野における問題に対して必要な心理に関する支援について説明できる。 4. 犯罪・非行領域における心理検査の活用や矯正処遇技法の初步的な実践力を身につける。 5. 犯罪・非行にかかわる心理実務者の仕事を知り、将来の職業選択について考える。 6. 精神障害と犯罪、少年司法、裁判員制度などのテーマを通して、市民としての社会的責任を自覚するとともに、社会的な問題に対する関心を深め、生涯学習力を身につける。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>											<input type="checkbox"/>				
21UPWP3073	産業・組織心理学	3	職場や組織における人間行動について理解することを目的とする。さらに、職場において必要となる心理的支援およびその方法について理解する。	1. 職場（キャリア形成に関することうを含む）における問題に対して必要な心理に関する支援およびその方法について説明できる。 2. 組織における人の行動について概説できる。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>											<input type="checkbox"/>				
21UPWP3083	公認心理師の職責	3	保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働など様々な分野において、心理に関する支援を行う公認心理師の役割について理解することを目的とする。さらに、法的義務や職務上の倫理について理解し、公認心理師に求められる態度や資質の育成を目指す。	1. 公認心理師の役割について理解する。 2. 公認心理師の法的義務を理解し、必要な倫理を身につける。 3. 心理に関する支援を要する者等の安全を最優先し、常にその者中心の立場に立つことができる。 4. 守秘義務および情報共有の重要性を理解し、情報を適切に取り扱うことができる。 5. 保健医療、福祉、教育その他の分野における公認心理師の具体的な業務の内容について説明できる。 6. 自己課題発見・解決能力を身につける。 7. 生涯学習への準備を行う。 8. 多職種連携および地域連携のあり方について修得する。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>										<input type="checkbox"/>					
21UPWP3093	心理演習	3	心理に関する支援を要する者等の支援についての知識および技能の基本的水準の修得を目的とし、具体的な場面を想定したロールプレイや事例検討を通して学ぶ。	1. 心理に関する支援を要する者等に関する①コミュニケーション、②心理検査、③心理面接、④地域支援等の知識および技能を修得する。 2. 心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握および支援計画の作成について修得する。 3. 心理に関する支援を要する者等の現実生活を視野に入れたチームアプローチについて修得する。 4. 多職種連携および地域連携のあり方について修得する。 5. 公認心理師としての職業倫理および法的義務への理解について修得する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号													
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目													
					1. 知識・理解	2. 技能・表現	3. 思考・判断	4. 態度・志向性	1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3
21UPWP4063	心理実習	4	保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野等における施設において、見学等による実習を行いながら、心理に関する支援を要する者への支援の実際について体験的に学ぶ。	1. 実習施設の見学等の実習を通して、心理に関する支援を要する者へのチームアプローチについて、身につける。 2. 実習施設の見学等の実習を通して、多職種連携および地域連携の実際について、体験的に理解を深める。 3. 公認心理師としての職業倫理および法的義務への理解を体験的に学ぶ。	○	○			○	○			○	○	○	○	○	○
21UPWP4073	心理実習指導	4	心理実習を通して、体験的に学んだことを、心理に関する専門的知識および技能として整理し、体系化することを目的とする。	1. 実習記録として、心理実習の内容を整理し、振り返る。 2. 実習担当教員に、報告・連絡・相談を適切に行なうことができる。 3. 具体的な体験や支援活動を、心理に関する専門的知識および技術として概念化・理論化し、体系化することができる。 4. 実習を通して、心理に関する支援を要する者等についての情報を収集し、課題を抽出・整理できる。	○	○			○	○			○	○	○	○	○	○
21UPWP3103	心理調査概論	3	心理学におけるデータ収集方法について理解する。さらに、研究倫理について理解を深める。	1. 心理調査の基本的な考え方を概説できる。 2. 心理学研究における心理調査の目的とその手順を修得している。 3. 心理学研究における研究倫理について理解している。	◎		◎		○				○	○				
21UPWP2113	消費者心理学	2	人々の消費行動における、意思決定に関わる社会心理学的メカニズムについて理解する。また、マーケティングの基礎概念および購買行動についての考察を通して、多面的に消費行動を捉える能力を養うことを目標とする。	1. マーケティングの基本的な考え方を理解する。 2. 消費者行動理解における心理学的観点からのアプローチの重要性を理解する。 3. 心理学に限らず、関連分野にも視野を広げ多面的に消費者行動をとらえようとする姿勢を持つ。	○		○						○					
21UPWP2123	心理学英語文献講読	2	心理学のテーマを扱った英語論文の読み方と読解の基礎について学び、各自がすでに習得している読み方のスキルを高めるだけでなく、心理学の文献を読み理解するための新たなスキルを獲得する。	1. 英語論文の文章内容が把握できる。 2. 英語論文の詳細が理解できる。 3. 英語論文の日本語での要約ができる。	○				○		○		○					
21UPWP2133	データ処理論 I	2	心理学や社会科学で、アンケート調査や実験を行った際、そのデータ処理になくてはならない統計的な検定の具体的手順を理解し、パソコンによるデータ処理スキルを習得することを目的とする。	1. 心理学的手法により収集されたデータをパソコンを用いて適切に分析できる。 2. 分析結果を文章や図表を用いて、説明することができる。	○		○		○		○		○		○			
21UPWP2143	データ処理論 II	2	心理学や社会科学で、アンケート調査や実験を行った際、そのデータ処理になくてはならない統計的な検定の具体的手順を理解し、パソコンによるデータ処理スキルを習得することを目的とする。	1. 心理学的手法により収集されたデータをパソコンを用いて適切に分析できる。 2. 分析結果を文章や図表を用いて、説明することができる。	○		○		○		○		○		○			
21UPWP4083	医療ソーシャルワーク	4	1. ソーシャルワークの視点とスキルは活躍する場によらず普遍的である。その一方で、的確な援助のためには分野固有の価値やシステムを意識せねばならないことを知る。 2. 今日、多くの事例が保健医療と関わりを有する実態を踏まえて、医療ソーシャルワーカーの倫理、実践、職種間連携のあり方への理解を深める。	1. 医療ソーシャルワークの基礎知識や援助技術について学ぶ。健康かつ文化的な生活を維持・増進させるための医療福祉サービスの広がりを具体的に想起できることが目標である。 2. 社会福祉の理論や実践が、現代の医療現場における困難や葛藤を緩和できる可能性について認識を新たにする。		○										○		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号							
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目 1. 知識・理解 2. 技能・表現 3. 思考・判断 4. 態度・志向性 1-1 1-2 2-1 2-2 2-3 2-4 2-5 3-1 3-2 3-3 4-1 4-2 4-3							
21UPWP3163	更生保護制度	3	<p>社会福祉を学ぶ上で、さらには社会福祉士を目指す上で必要な更生保護制度についての基本的知識を理解することを目的としている。</p> <p>更生保護とは、我が国刑事司法制度の最後を担い、犯罪をした者や非行のある少年を、社会内において指導しサポートすることによって、健全な社会人として更生させ、再犯・再非行を防ぐ働きなどを行う制度であるが、その効果をあげるために、近年特に福祉分野との連携強化が重視され、社会福祉の分野でも、更生保護への理解が必要とされるようになり、更生保護と社会福祉が相互理解の上で、互いに有効な援助機能を発揮し、再犯防止に効果を挙げ、犯罪や非行でつまずいた人々の社会適応を図っていくことが望まれている。</p> <p>こうした観点から、更生保護制度への理解を深める。</p>	1. 更生保護制度全般への基本的かつ実際的な理解を深める。 2. 関連の刑事司法・少年司法分野について理解する。	◎	○						○
21UPWP3173	精神疾患とその治療A	3	代表的な精神疾患について、成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援といった観点から理解する。	代表的な精神疾患（統合失調症、気分障害、ストレス関連障害、認知症など）の成因、病状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援について説明できる。	◎	◎	○					
21UPWP3183	精神疾患とその治療B	3	1. 精神疾患とその治療Aにひきづき、代表的な精神疾患について成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援といった観点から理解する。 2. 向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化について、概要を理解する。 3. どのような場合に精神科医療機関への受診が必要か理解する。 4. 精神科病院等における専門医療の内容および特性について理解する。 5. 精神科チーム医療的重要性と、その中で精神保健福祉士・公認心理師の専門職種が担うべき役割について理解する。 6. 精神医療と福祉の連携の重要性と、精神保健福祉士がその際に担うべき役割について理解する。	1. 代表的な精神疾患（発達障害など）の成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援について説明できる。 2. 向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化について概説できる。 3. どのような場合に精神科医療機関への受診が必要か説明できる。 4. 精神科医療機関の治療構造および専門病棟について概説できる。 5. 精神科治療における人権擁護について説明できる。 6. 精神科チーム医療と精神保健福祉士・公認心理師の役割について説明できる。 7. 精神医療と福祉の連携と精神保健福祉士の役割について概説できる。	◎	◎	○					
21UPWP4113	精神障害リハビリテーション論	4	1. 精神障害リハビリテーションの概念とプロセスおよび精神保健福祉士の役割について理解し、援助場面で活用できる。 2. 精神障害リハビリテーションプログラムの知識を援助場面で活用できる。 3. 精神障害リハビリテーションの実施機関と精神障害リハビリテーションプログラムの関連について理解し、援助場面で活用できる。	下記の項目について実践的に理解することができる。 (1) 精神障害リハビリテーションの理念、定義、基本原則 (2) 精神障害リハビリテーションの構成および展開 (3) 精神障害リハビリテーションプログラムの内容と実施機関 (4) 精神障害リハビリテーションの動向と実際	◎	○						○
21UPWP3191	専門演習Ⅰ A	3	卒業論文執筆に向けて、その研究内容を深めることを目的とする。	各自の問題意識を深めるとともに、卒業論文や卒業にむけての大きな研究テーマを見出す。	◎	◎	○	○	○	○	○	○

令和3年度入学生用カリキュラムマップ

【心理・社会福祉学科】

【社会福祉コース】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号														
					凡例: ◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1. 知識・理解	2. 技能・表現	3. 思考・判断	4. 慊度・志向性	1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1
21UPWS3013	感情・人格心理学（人格）	3	人格（パーソナリティ）の諸理論を概観し、人格とは何かを理解し、人格がどのように形成され、表出されるのかについて学び、人格心理学の基礎知識を持つことを目標とする。	1. 人格（パーソナリティ）の概念および形成過程について概説できる。 2. パーソナリティについて行われてきた基礎的研究について理解し、パーソナリティの類型、特性等について概説できる。 3. 様々な日常場面において、パーソナリティが実際にはどのように影響するかについて学ぶ。	◎											○	○		
21UPWS4013	社会・集団・家族心理学（社会・集団）	4	社会心理学ならびに集団心理学の目的である、社会的場面・集団的場面における社会的行動のメカニズムを理解し、予測し、これを制御するために、社会的行動の規則性ないし法則性を理解する。	1. 社会・集団心理学に関する基本的な考え方を理解する。 2. 対人関係ならびに集団における人の意識および行動についての心の過程を説明できる。 3. 人の態度および行動について様々な理論を用いて説明できる。 4. 科学的な視点から人間行動を理解する方法を獲得する。 5. 日常的な行動のメカニズムについて、科学的・論理的に分析することができる。 6. 社会・集団心理学の知識を対人場面の問題解決に適用することができる。	○	○										◎	○	○	
21UPWS4023	社会・集団・家族心理学（家族）	4	本講義は、社会、集団、家族に関連した心理学について講義を実施する。講義では、家族、集団、文化が人に及ぼす影響について学ぶ。そして、家族や家族の心理について自分の考えを持つことができ、さらに、他の学生とも意見交換を行い、社会、集団、家族心理学について理解する。	1. 家族、集団および文化が個人に及ぼす影響について概説できる。 2. 自分の考えと他者の意見を双方向に交流させることができる。 3. その上で家族と家族心理についての、自分の考えをしっかりと持つことができる。	○											○	◎	○	○
21UPWS3023	障害者・障害児心理学	3	各障害について定義（概念）を明確にし、それぞれの障害に特有の発達上の課題、社会生活上で生じてくる様々な問題を理解すること、そして問題解決のための心理学的援助のあり方を理解することを目標とする。	1. 身体障害、知的障害および精神障害について概説できる。 2. 障害者、障害児の心理社会的課題および必要な支援について説明できる。	◎	◎										○	○	○	
21UPWS4033	心理学的支援法	4	心理カウンセリングや心理療法といった心理学的支援の理論と技法について体系的に学ぶ。また、実際の臨床現場で心理カウンセリングや心理療法といった心理学的支援がどのように行われているのかも知る。	1. 心理的支援を要するクライエントの心理学的問題を適切に理解する。 2. 代表的な心理療法ならびにカウンセリングの歴史、概念、意義および適応について概説できる。 3. 訪問による支援や地域支援の意義について概説できる。 4. 心理に関する支援を要する者およびその関係者の特性や状況に応じて適切な支援方法を選択・調整することができる。 5. 良好的な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を身につける。 6. 心理療法やカウンセリングの適用には限界があることを説明できる。 7. 心理に関する支援を要する者等のプライバシーに配慮できる。 8. 心の健康教育について理解できる。	◎	○											○	○	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号													
					凡例： ◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目													
					1. 知識・理解	2. 技能・表現	3. 思考・判断	4. 態度・志向性	1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3
21UPWS4043	健康・医療心理学	4	1. ストレスと心身の疾病の関係について理解する。 2. 医療現場における心理社会的課題および必要な支援方法について理解する。 3. 様々な保健活動における心理社会的課題および必要な心理に関する支援について理解する。 4. 災害時などに必要な心理に関する支援について理解する。	1. ストレスと心身の疾病の関係について概説できる。 2. 医療現場における心理社会的課題および必要な支援方法について説明できる。 3. 様々な保健活動における心理社会的課題および必要な心理に関する支援について説明できる。 4. 災害時などに必要な心理に関する支援について説明できる。	○	◎	○		○	○								
21UPWS3033	福祉心理学	3	福祉現場において生じる諸問題について、その背景を心理的・社会的観点から理解する。さらに、社会福祉の対象となる人びとに対する支援を心理学的観点から考えることを目的とする。	1. 福祉現場において生じる問題およびその背景について説明できる。 2. 福祉現場における心理社会的課題および必要な支援方法について説明できる。 3. 虐待についての基本的知識と必要な支援について説明できる。 4. 高齢者の心理社会的課題および必要な支援について説明できる。	◎	◎			○	○	○	○						
21UPWS4053	教育・学校心理学	4	教育現場では日々様々な問題が発生しているため、このような問題の背景を理解し、改善するための援助方法を検討するための心理的アセスメントについて理解することが必要になる。 本講義では、教育現場でできる援助方法を検討し、他機関との連携ならびに学校内でのケース検討会議の方法を理解する。さらに、保護者との関わり方や介入方法を学び、必要な援助方法を考えるとともに、心理社会的課題も考えられる能力を身につける。	1. 教育現場において生じる問題およびその背景について説明することができる。 2. 教育現場で必要な児童・生徒理解に対する心理学的見方や心理的アセスメントについて理解する。 3. 児童・生徒への心理教育的援助方法について理解する。 4. 教育現場においてチームアプローチ、機関連携、ケース会議などをコーディネートする援助サービスの技能について理解する。 5. 保護者に対する関わり方や介入方法について理解する。 6. 教育現場における心理社会的課題および必要な援助方法について説明できる。	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
21UPWS2013	ソーシャルワーク論ⅠA	2	1. 相談援助における人と環境との交互作用に関する理論について理解する。 2. 相談援助の対象について理解する。 3. 相談援助の過程とそれに係る知識と技術について理解する。 4. 相談援助の実際について理解する。	1. 人と環境の交互作用について説明できる。 2. 援助の対象について説明できる。 3. 相談援助の過程について説明できる。 4. 相談援助における援助関係について説明できる。 5. 相談援助における面接技術について説明できる。	◎								○					
21UPWS2023	ソーシャルワーク論ⅠB	2	1. 相談援助における人と環境との交互作用に関する理論について理解する。 2. 相談援助の対象について理解する。 3. 相談援助の過程とそれに係る知識と技術について理解する。 4. 相談援助の実際について理解する。	1. 相談援助の過程について説明できる。 2. 相談援助におけるアウトリーチ、社会資源の活用・調整・開発、ネットワーキングについて説明できる。 3. 相談援助における記録の種類や方法について説明できる。 4. 相談援助と個人情報の保護の意義と留意点について説明できる。 5. 相談援助における情報通信技術（IT）の活用について説明できる。	◎								○					
21UPWS3043	ソーシャルワーク論ⅡA	3	1. 相談援助の対象と様々な実践モデルについて理解する。 2. 相談援助の過程とそれに係る知識と技術について理解する。 3. 相談援助の実際について理解する。	1. 集団を活用した相談援助について説明できる。 2. 相談援助における様々な実践モデルとアプローチについて説明できる。	○	○							○					
21UPWS3053	ソーシャルワーク論ⅡB	3	相談援助における事例分析の意義と方法およびソーシャルワークによる支援の実際について理解する。	社会的排除、虐待、DVなど危機的状況にある相談援助事例についてソーシャルワークの視点から分析し、多様な理論を応用しながら問題解決に向けた支援を組み立てる基本的力量を身につける。	○	○			○	○	○	○						

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号														
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					1. 知識・理解	2. 技能・表現	3. 思考・判断	4. 慊度・志向性	1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1
21UPWS2073	ソーシャルワーク実習Ⅰ	2	1. ソーシャルワークの実践に必要な各科目の知識と技術を統合し、社会福祉士としての価値と倫理に基づく支援を行うための実践能力を養う。 2. 支援を必要とする人や地域の状況を理解し、その生活上の課題（ニーズ）について把握する。 3. 生活上の課題（ニーズ）に対応するため、支援を必要とする人の内的資源やフォーマル・インフォーマルな社会資源を活用した支援計画の作成、実施およびその評価を体験的に行う。 4. 施設・機関等が地域社会の中で果たす役割についての概要を実習を通じて理解する。 5. 総合的かつ包括的な支援における多職種・多機関、地域住民等との連携のあり方およびその概要を実践的に理解する。	1. 施設・機関の機能および社会福祉施策・制度や利用者の抱える生活上の諸問題を総合的に理解する。 2. 利用者およびその家族、関係者等を理解し、関係形成をはかりながら、利用者のニーズを把握・分析する基本的能力を身につける。 3. 観察や体験を通じて、ソーシャルワークに関する価値・知識・技術を理解し、施設・機関において必要とされる生活支援や援助・介助の実際を学ぶ。ソーシャルワーク実習Ⅰを通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し実践的な技術等を学ぶ。その際、社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。また関連分野の専門職との連携のあり方およびその具体的な内容を学ぶ。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
21UPWS3103	ソーシャルワーク実習Ⅱ	3	1. ソーシャルワークの実践に必要な各科目の知識と技術を統合し、社会福祉士としての価値と倫理に基づく支援を行うための実践能力を養う。 2. 支援を必要とする人や地域の状況を理解し、その生活上の課題（ニーズ）について把握する。 3. 生活上の課題（ニーズ）に対応するため、支援を必要とする人の内的資源やフォーマル・インフォーマルな社会資源を活用した支援計画の作成、実施およびその評価を行う。 4. 施設・機関等が地域社会の中で果たす役割について、実際の状況をふまえて実践的に理解する。 5. 総合的かつ包括的な支援における多職種・多機関、地域住民等との連携のあり方およびその具体的な内容を実践的に理解する。	1. 施設・機関の機能および社会福祉施策・制度や利用者の抱える生活上の諸問題を総合的に理解する。 2. 利用者およびその家族、関係者等を理解し、関係形成をはかりながら、利用者のニーズを把握・分析する基本的能力を身につける。 3. 観察や体験を通じて、ソーシャルワークに関する価値・知識・技術を理解し、施設・機関において必要とされる生活支援や援助・介助の実際を学ぶ。 4. 施設や機関内外の社会福祉専門職や関連分野の専門職の職務内容を理解し、効果的な連携のあり方について学ぶ。 5. 自らの実習体験を客観的、具体的に記録化し、現状と課題について考察することができる。 6. 地域社会における施設・機関の位置づけ、機能と役割、関係機関との連絡・調整について理解する。 7. 事例検討を通して各種記録の意義について学び、一連の専門的支援過程の方法を具体的に理解する。 8. ケースカンファレンスや各種会議を体験し、事例研究とチームアプローチの重要性を学ぶ。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21UPWS4083	社会福祉事業史	4	社会福祉の歴史的展開を紐解くことにより、現代の社会福祉の意義と社会に果たす役割について考察することを目的とする。	社会福祉の歴史的な変遷を理解するとともに、現代における制度の意義も合わせて考察することが第一である。また、第二は、社会福祉士の国家試験に対応するレベルまで到達することを目標とする。	○														
21UPWS2083	児童・家庭福祉論	2	児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、社会需要および児童家庭福祉制度の発展児童の権利について理解する。	社会福祉士として、児童・家庭福祉の諸問題に対応できる基礎的な力を涵養する。	○	○							○						
21UPWS2093	障害者福祉論	2	障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や福祉・介護需要について理解する。障害者福祉制度の発展過程や、相談援助活動法制度や実施体制を理解する。	社会福祉士として、障害者問題に対応できる基本的知識を涵養する。	○	○							○						

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号												
					凡例 : ◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目			1. 知識・理解	2. 技能・表現	3. 思考・判断	4. 態度・志向性						
					1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3
21UPWS2173	精神障害リハビリテーション論	2	1. 精神障害リハビリテーションの概念とプロセスおよび精神保健福祉士の役割について理解し、援助場面で活用できる。 2. 精神障害リハビリテーションプログラムの知識を援助場面で活用できる。 3. 精神障害リハビリテーションの実施機関と精神障害リハビリテーションプログラムの関連について理解し、援助場面で活用できる。	下記の項目について実践的に理解することができる。 (1) 精神障害リハビリテーションの理念、定義、基本原則 (2) 精神障害リハビリテーションの構成および展開 (3) 精神障害リハビリテーションプログラムの内容と実施機関 (4) 精神障害リハビリテーションの動向と実際	◎	○								○			
21UPWS2183	ソーシャルワークの理論と方法（専門）A	2	1. 精神障害および精神保健福祉の課題を持つ人に対するソーシャルワークの過程を理解する。 2. 精神障害および精神保健福祉の課題を持つ人と家族の関係を理解し、家族への支援方法を理解する。 3. 個別支援からソーシャルアクションへの実践展開をミクロ・メゾ・マクロの連続性・重層性を踏まえて理解する。	下記の項目について実践的に理解することができる。 (1) 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの概要 (2) 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの過程 (3) 精神保健福祉分野における家族支援の実際 (4) 個別支援からソーシャルアクションへの展開	○	○	○						○				
21UPWS2193	ソーシャルワークの理論と方法（専門）B	2	1. 精神医療、精神障害者福祉における多職種連携・多機関連携の方法と精神保健福祉士の役割について理解する。 2. 精神保健福祉士と所属機関の関係を踏まえ、組織運営管理、組織介入・組織活動の展開に関する概念と方法について理解する。 3. 精神保健福祉分野以外における精神保健福祉士の実践展開を理解する。	下記の項目について実践的に理解することができる。 (1) 多職種連携・多機関連携（チームアプローチ） (2) ソーシャルアドミニストレーションの展開方法 (3) コミュニティワーク (4) 関連分野における精神保健福祉士の実践展開	○		○						○				
21UPWS3193	ソーシャルワーク演習（専門）A	3	精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人の状況や困難、また希望を知り、とりまく状況や環境を含めて理解してソーシャルワークを展開するための精神保健福祉士の専門性（知識、技術、価値）の基礎を獲得する。	以下の精神保健福祉の課題について、事例等を用いて習得する。 ・社会的排除・社会的孤立・受診・受療・課題発見・退院支援・地域移行支援・地域生活支援・自殺対策・ひきこもり支援・児童虐待への対応・アルコール依存・薬物依存・ギャンブル依存等の予防や回復・家族支援・就労（雇用）支援・職場ストレス・リワーク支援・貧困・低所得・ホームレス支援・災害被災者、犯罪被害者支援、触法精神障害者支援・その他	○	○	○	○	○	○	○		○	○			
21UPWS4093	ソーシャルワーク演習（専門）B	4	精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人のための諸制度、サービスについて、その概念と利用要件や手続きを知り、援助に活用できるようになる。	以下の精神保健福祉の法制度、サービスについて、事例等を用いて習得する。 ・精神保健および精神障害者福祉に関する法律・障害者基本法、障害者総合支援法・障害者差別解消法・障害者虐待防止法・医療観察法・生活保護制度・障害年金制度・各種手当・障害者雇用促進法・労働安全衛生法・介護保険法・老人福祉法・高齢者虐待防止法・児童福祉法・児童虐待防止法・アルコール健康障害対策基本法・刑の一部執行猶予制度・覚せい剤取締法等・自殺防止対策基本法・当事者活動（自助グループ、ピアサポート）・その他（居住支援制度、生活困窮者自立支援制度、成年後見制度等）	○	○	○	○	○	○	○		○	○			

